

# 夏休みの思い出

今年の夏、私は大阪・神戸に旅行へ行きました。関西には祖父、祖母が暮らしているため幼い頃から頻繁に行っていたが観光というものはしたことがなかったため、今回時間があったため行くことにしました。

今回の旅行は二日間行ったが一日目は大阪を観光することにした。



(左の写真は大阪城)

まず大阪のシンボル、誰もが知っている「大阪城」から行ってみた。

1583年、秀吉がまさに絶頂期を向かえようとする時に建てられたお城「大阪城」。私は大阪城の歴史について詳しく知らなかったがパンフレッ

トによると「織田信長に抗していた大坂(石山)本願寺の跡地を手に入れた豊臣秀吉は、全国統一の根拠地をこの地大坂と定め、天正11年(1583)、雄大極まりない大坂城の建築に着手した。完成に約15年を要したその規模は、面積が現在の4~5倍という広大なもので、本丸中央には金色に輝く天守がそびえていた。しかし、慶長20年(1615)、大坂夏の陣で豊臣家滅亡とともに大坂城はすべて焼失してしまった。江戸時代に入って元和6年(1620)、徳川幕府は大坂城の再建にのり出した。10年の歳月と幕府の威信をかけて再建された大坂城は、全域にわたる大規模な盛土と石垣の積み上げ、堀の掘り下げが行われ、天守閣も15m高くなるなど、豊臣秀吉が建築したものとは全く異なったものとなった。しかし、この天守閣も寛文5年(1665)の落雷で焼失したまま再建されず、その他建物も、大手門や多聞櫓などの一部を残

して明治維新（1868）の際の動乱で焼失して  
しまった。昭和6年（1931）、当時の市長関  
一の提案と市民の募金により天守閣の再建が行  
われた。太平洋戦争の空襲によりいくつかの建  
物が焼失し、天守閣も一部被害を受けたが、戦後  
の全域の公園化と、昭和28年から44年にか  
けて行われた櫓・蔵などの修復、そして昭和6年  
当時の天守閣の姿をよみがえらせるために平成  
7～9年に行われた「平成の大改修」により今日  
みられるような姿となったのである」と書かれ  
ている。

このように今日存在する大阪城は豊臣秀吉が建  
築した当時のものとは全く異なるものというこ  
とを知った。



(左の写真は太陽の塔)

次に、万博記念公園に行きました。

1970年3月14日

から9月13日までの183日間「人類の進歩と調和」をテーマとして日本で初めて開催された大阪万国博覧会。進歩と調和という共存の困難なこの主題に人類の高い理想を追求した多くの展示。そして「太陽の塔」は“原点”の“起点”として万国博の輝かしいシンボルであった。

テーマの精神を集約的に表現するシンボルゾーンのほぼ中央、お祭り広場の大屋根をつらぬいて、高さ65メートルの太陽の塔がそびえていた。



(左の写真は竹田城跡)

二日目に神戸を観光  
しました。まず私は竹  
田城跡に行きました。

竹田城跡とは、山城遺

跡として全国でもまれな完存する遺構であり、  
天守台は標高 353.7 メートルの山頂に築かれて  
います。現存の遺構は、豊臣秀吉が但馬攻め（天  
正 5 年）の後、近世の城郭に普請するように命  
じたものとみられ、国の史跡に指定されていま  
す。



(左の写真は竹  
田城跡 雲海有)

なぜ、竹田城跡に  
行ったかという

と竹田城跡は「日

本のマチュピチュ」、「天空の城」と呼ばれており

標高 353.7m の山頂にあるため雲海の上に浮かぶ絶景を見ることができ、それをみるために行きました。しかし、雲海は時間・湿度等いろんな条件が合わなければでないため見ることは出来ず残念でした。



(左の写真は北野異人館街)

次に、北野異人館街に行きました。

この街ができたの

は1868年1月1日兵庫が開港されたのち、外国人は現在の市役所の西側一帯、旧居留地で仕事をしたり、住んだりしていました。ところが来日する外国人の数が多く、住宅不足の問題が起こってきました。そこで居留地に住めない外国人は、新たな住環境を山の手を求めるようになり、さらに居留地内に住んでいた外国人たち

も、商売が安定していたことから、仕事場と住居を分けることを考えはじめました。こうした人達が次第に山の手へ移り住むようになりました。これが異人館街のはじまりです。



(左の写真は姫路城)

最後に姫路城に行きました。ここは江戸時代初期の建築物が現存し、

国宝や重要文化財、世界遺産に登録されるほど歴史ある城である。お城周辺は1945年（昭和20年）の2度のアメリカ軍による空襲で焼け野原になりました。しかし、姫路城は奇跡的に戦火を免れたことから築城当時の姿を現在まで残す事が出来ました。終戦後、その修理が再開され、1956年（昭和31年）から天守閣群の解体復元工事

「昭和の大修理」が8年の歳月をかけて行われました。

今回の旅行を通じてよく行く場所でもその土地の歴史を調べる事で新たな発見もたくさんあることを知り、いろんな場所に旅行しその土地の歴史を調べることで旅行をさらに充実できると知った。